

瑞二だより

発行
江戸川区立
瑞江第二中学校
校長 滝澤 清豪
発行日12月25日
東京都江戸川区
瑞江4-54-1

2学期終業式(12月25日)

「学ぶこと」～栄一と諭吉～」

おはようございます。
今日は終業式です。長
かった2学期もやっと
終わりになりますね。
振り返って今学期はど
うでしたか?いろいろ
な行事が実施できまし
た。コロナが鎮まりか
けたと思ったらインフ
ルエンザの大流行があ
りました。両方ともま
だまだ安心はできませ
ん。

明日から冬期休業が
始まります。本校では
長期休業中はその期間
しかできないことを経
験することも大切であ
るとの考えから、宿題
は最小限としています。
是非この期間を通して
多くの「学び」をして
ください。「勉強」
「宿題」ではなく「学
び」です。
11月下旬から12月上
旬まで3年生は面接練
習をしている生徒がい

ました。私と副校長先
生が面接官となつて、
約20分間の面接練習を
しました。私は多くの
面接練習を受けた皆さ
んにこう言いました。
「スキマ学習で、問答
集を作つて練習しなさい」と。また、質問の
中で、「あなたが最近
読んだ本はなんですか?
そこから何を学びまし
たか」などと聞いてい
ました。「はい、私は
〇〇」という本を読みま
した。」と答える人が
多かったですが、中に
は、うーんと考え、
「本は読んでません。」
と答える人もいました。
朝読書で読んでいた本
を話すことは出来たの
でしょうが、緊張のあ
まりうまく答えられな
かったようでした。日
常から読書の習慣がつ
いていると本から多く
の学びがあるものです。

本は自分の知識をより
豊かに、考え方を多角
的に広げてくれる代表
的なものだと思います。

ところで、今日は、
明治時代の偉人二人の
話をします。それは、
福沢諭吉と渋沢栄一で
す。

福沢諭吉と渋沢栄一
は、幕末から明治にか
けて生きた人物で、日
本の近代化に尽力した
実業家・思想家です。
二人は同じ時代に日本
の近代化に尽力しまし
たが、生まれも育ちも
考え方も、まったくの
真逆だったと言われま
す。福沢諭吉は、日本
の教育界の父として知
られ、『西洋事情』を
著わしました。

一方、渋沢栄一は、
日本で初めて銀行を作
つた人物であり、サッポ
ロビールや帝国ホテル、
東京ガスなど多くの会
社にたずさわってきた
実業家です。二人は、
1869年に渋沢栄一が

旧制を改革するため、
大隈重信から諮問機関
の「改正掛(かいせい
がかり)」の長に任命
された時に初めて会い、
その後も事あるごとに
関わりをもち、日本の
近代化に力を注いだ二
人でした。
二人が将棋を指した
というエピソードも残
っています。結果として
渋沢栄一が勝つたそう
ですが、福沢諭吉は渋
沢栄一を「商売人にし
ては割合強い」と厳し
く批判し、一方の渋沢
栄一も、福沢諭吉を
「ヘボ学者にしては強
い」と評価し、負けん
気あふれる対局だった
そうです。

私は栄一の次に挙げ
る名言が好きです。

四十、五十は漢(はな)
垂れ小僧

六十、七十は働き盛り、
九十になって迎えが
来たら、
百まで待てと追い返せ。

今の私にはとても心に
刺さる言葉です。まだ
まだ頑張れと言われて
いるようで、また一段

と気合が入ります。

私は以前「学問のす
すめ」を読みました。
出だしのところは教科
書などに出てきますの
で知っている人も多い
でしょう。「天は人の
上に人を造らず、人の
下に人を造らず」です
ね。1872年から1876
年に発行され、当時の
ベストセラーとして多
くの日本人に読まれま
したが、近代的・民主
的な思想の教授のほか
実学の奨励についても
紙面の多くが割かれて
います。

実学とは、いろは四
十七文字の学習、手
紙の常用句の学習、帳
簿のつけ方、そろばん
の練習、秤を使った計
量法などを指します。
皆さんはこの「天は人
の上に人を造らず、人
の下に人を造らず」の
意味は分かりますか。
そうです。人間は皆
平等であるということ
を言っています。しか
し、この続きの言葉を
知っていますか?意外
と知らないですよ。ね。
現代訳をすると
「この人間の世界を見

渡してみると、賢い人
も愚かな人もいる。貧
しい人も、金持ちもい
る。また、社会的地位
の高い人も、低い人も
いる。こうした雲泥の
差と呼ぶべき違いはど
うしてできるのだろう
か。その理由は非常に
はつきりしている。
『実語教』という本の
中に、「人は学ばなけ
れば、智はない。智の
ないものは愚かな人
である」と書かれている。
つまり、賢い人と愚か
な人との違いは、学ば
か学ばないかによつて
できるものなのだ。」
「学ぶ」とは、ここで
は「勉強する」という
意味だけではなく、もつ
と広く捉え、知識や技
芸を身に付けたり、経
験をしたり、真似をす
ることを指します。学
びを続けることで未来
が開けてくると諭吉は
言いたかったのだしょ
う。

奇しくも、この二人
(栄一・諭吉)の偉人は
来年7月中旬にバトンタ
ッチします。何のことか
分かりますか?一万円
紙幣の肖像デザインで
す。来年7月中には、
一万円渋沢栄一、五千
円津田梅子、千円北里
柴三郎となります。長
年親しんで来た一万円
紙幣福沢諭吉から渋沢
栄一と変わるのです。
勿論、世の中に出回
るのにはしばらく時間
がかかりますし、その後
もずっと、福沢諭吉一
万円紙幣も使えます。
皆さんが正月に頂ける
かもしれないお年玉の
福沢諭吉・樋口一葉・
野口英世のトリオは今
年で最後かもしれません
よ。使わないでコレ
クションする人もいる
かもしれませんね。大
切にしてください。

以上で私の話を終わり
ます。良い年を迎えて
ください。

保護者の皆様へ

日頃より学校教育にご協
力いただきまして、誠にあ
りがとうございます。大きな
事故・事件等なく1年が終
ろうとしています。お陰様
で学習・運動に頑張れる生
徒が多くなりました。これ
に満足せず、令和6年も高
みを目指して頑張ります。
良いお年をお迎えください。
校長 滝澤清豪